

# ポジティブ・インパクト・ファイナンス評価書

評価対象企業：株式会社アラビアン



2026年3月30日

株式会社富山第一銀行

# 目次

1.はじめに.....	2
2.会社概要.....	3
(1) 会社概要.....	3
(2) 経営理念・ビジョン.....	3
(3) 企業体.....	4
(4) 沿革.....	4
(5) 組織図.....	4
(6) セグメント構成（2025年3月期）.....	4
3.事業概要.....	5
(1) 業務の流れ（バリューチェーン）.....	5
(2) 事業内容.....	6
(3) 主要製品（製品毎に特徴説明）.....	7
(4) 施工事例.....	8
(5) 当社製品及び据付工事と建築物の関係.....	8
(6) 環境負荷低減に向けた建築業界の動向と当社の課題.....	9
4.独自の取り組み.....	10
(1) SDGs への取り組み.....	10
(2) 現場の安全管理への取り組み.....	11
(3) 持続可能な組織体制の構築.....	12
(4) 健康経営への取り組み.....	12
(5) 職場環境の整備.....	13
(6) 教育・研修制度への取り組み.....	13
(7) 従業員向けアンケートの実施.....	14
(8) その他取り組み.....	14
5.インパクトの特定.....	15
(1) インパクトリーダーによる包括的なインパクト分析.....	15
(2) インパクトカテゴリーに対応するSDGsゴール.....	17
(3) 日本におけるインパクトニーズの確認.....	17
(4) 富山県の政策・戦略の確認 ～とやま未来創生戦略～.....	18
(5) インパクトの特定.....	19
(6) 特定したインパクトと富山第一銀行との方向性の確認.....	19
6.KPIの設定.....	20
① 意匠性・安全性の高い機能的な建築金物の普及を通じた社会インフラへの貢献.....	20
② 環境負担軽減に向けた取り組みの強化.....	21
③ 従業員の働きがい向上に向けた職場環境の整備.....	22
7.管理体制とモニタリング.....	23
(1) インパクトの管理体制.....	23
(2) モニタリング方法.....	23
注意事項・免責事項.....	24

## 1.はじめに

株式会社富山第一銀行は、株式会社アラビアンに対してポジティブ・インパクト・ファイナンスを実施するにあたって、当社の企業活動が、環境・社会・経済に及ぼすインパクト（ポジティブな影響及びネガティブな影響）を分析・評価した。

分析・評価にあたっては、国連環境計画金融イニシアティブ（UNEP FI）が提唱した「ポジティブ・インパクト金融原則」及びESG金融ハイレベル・パネル設置要領第2項（4）に基づき設置されたポジティブインパクトファイナンスタスクフォースがまとめた「インパクトファイナンスの基本的な考え方」に則った上で、株式会社アラビアンの企業活動における包括的なインパクトを分析した。

株式会社富山第一銀行（以下、「富山第一銀行」）は、本評価書で特定されたポジティブインパクトの拡大とネガティブインパクトの抑制に向けた取り組みを支援するため、株式会社アラビアン（以下、「当社」）に対し、ポジティブ・インパクト・ファイナンスを実行する。

資金調達者の名称	株式会社アラビアン
調達形態	証書貸付
契約期間（モニタリング期間）	2026年3月30日から3年間
金額	50百万円
資金使途	運転資金

## 2.会社概要

### (1) 会社概要

当社は、所在地である富山県射水市を中心に、建築工事（公共施設、事業施設、一般住宅など）における建築金物（手摺やサッシなど）の設計・施工事業を展開し、地域に根差し事業活動を行っている。

当社の強みは、豊富な経験を生かした魅力あふれるサッシ・ステンレス・スチール、アルミの建築金物の製作である。時代とともに移り変わるニーズに応え、オフィスビルやマンションに向けて、美しく強くそして機能的な製品を提供している。

社名	株式会社アラビアン
代表者	代表取締役 山口 義雄
本社	富山県射水市新開発 563
創業年月	1971 年 4 月
設立年月	1986 年 4 月
事業内容	金属工事／金属パネル工事／鋼製建具工事／自動ドア工事／外構フェンス工事 ／避難滑り台（日本消防設備センター認定品）工事／看板サイン工事
資本金	10 百万円
売上高	419 百万円（2025 年 3 月期）
従業員	13 名（2026 年 2 月末日時点）
事業所一覧	【金沢営業所】 石川県金沢市直江町イ 42 番地 1
許認可	建築工事業 国土交通大臣許可（般-4）第 24593 号 屋根工事業 国土交通大臣許可（般-4）第 24593 号 内装仕上工事業 国土交通大臣許可（般-4）第 24593 号 建具工事業 国土交通大臣許可（般-4）第 24593 号

### (2) 経営理念・ビジョン

## 「おもいやり」第一企業

当社は社員が長期的に安心して仕事に従事できる企業を目指し、地域社会の発展に貢献します。

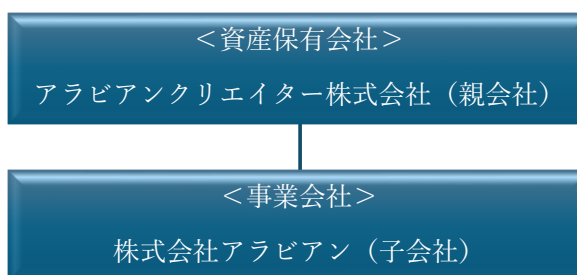
そして、お客様の信頼と満足度を高めるため、日々変わりゆく環境にも敏速にかつ正確に対応する努力をし続けます。

顧客はもちろんであるが、社員に対するおもいやりも重視している。社員が安心して働ける環境を提供することで、企業が発展するという創業者の理念を反映する言葉である。

### (3) 企業体

アラビアンクリエイター株式会社を親会社とし、当社が子会社というグループを形成。

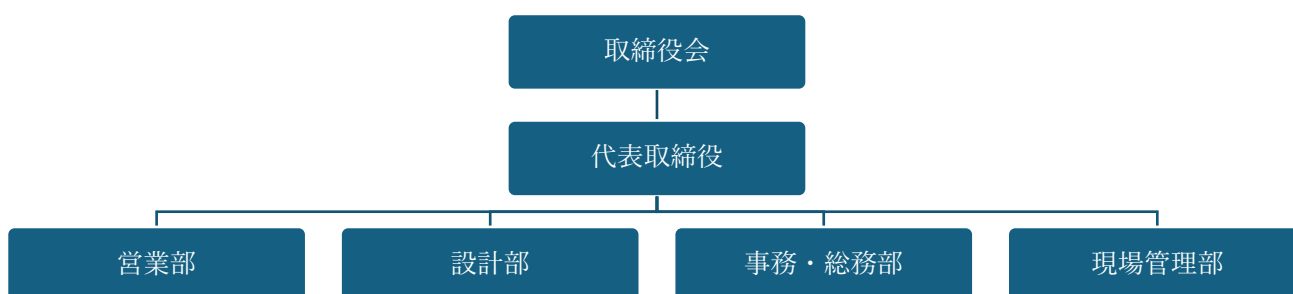
アラビアンクリエイター株式会社は資産運用会社であり、当グループの中核事業会社は当社であることから、本件は当社を評価対象企業とする。



### (4) 沿革

1971年	『アラビアン商会』創業 自動ドアの設計施工会社としてスタート
1986年	『株式会社アラビアン』に社名変更
2006年	金沢営業所開設（2月18日）
2021年	会社創業50周年
2025年	「SDGs宣言」策定
2025年	本社社屋建て替え

### (5) 組織図

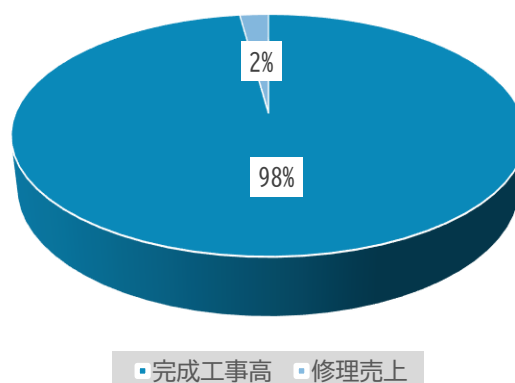


### (6) セグメント構成（2025年3月期）

当社の事業セグメントとしては、祖業である「自動ドアの設計施工」から派生した「自動ドア修理売上」、及び、現在の主力事業となる建築金物の設計～据付を行う「完成工事高売上」の2つ。

全体売上のうち完成工事高売上が98%を占めている。当社の事業領域は建築金物の「設計」と「施工管理」であり、設計⇒製造（外注）⇒施工（取付工事は外注）の流れを一括管理している。

自動ドア修理売上の売上割合は少ないが祖業である自動ドア関連事業は当社の魂であるとの考えから創業以来、継続して行っている事業である。



### 3.事業概要

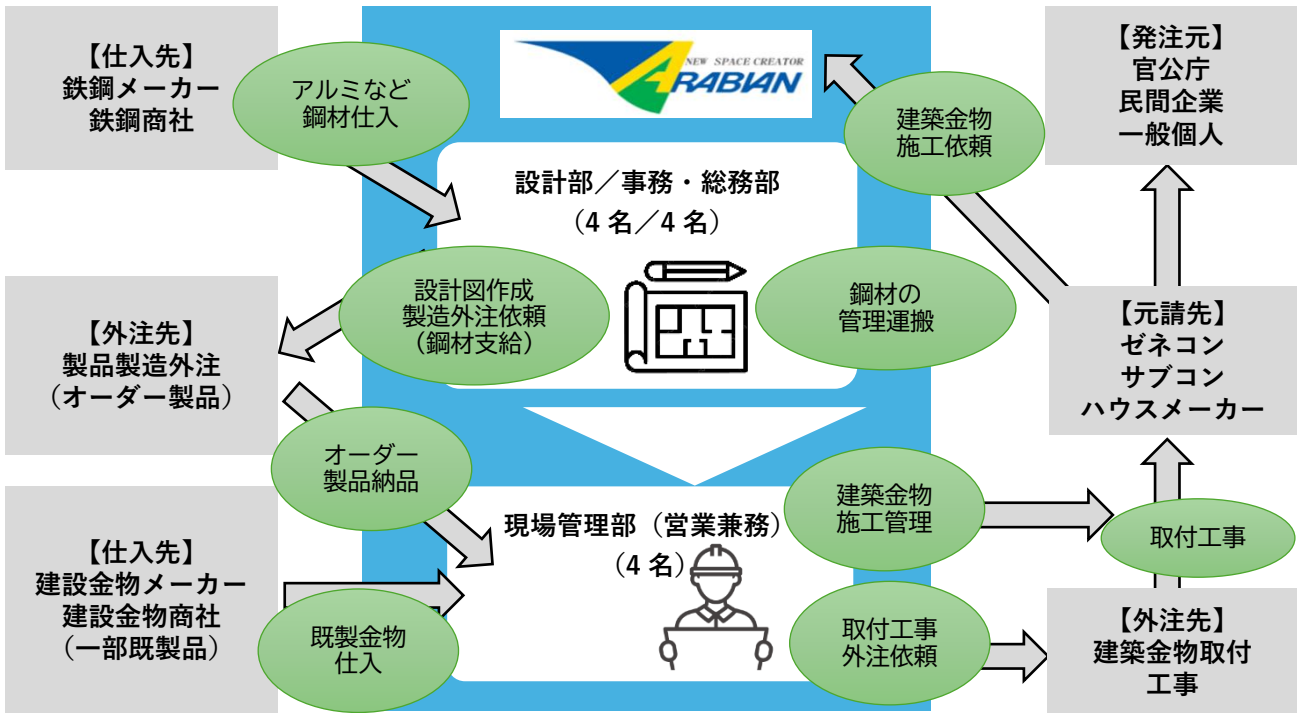
#### (1) 業務の流れ（バリューチェーン）

【受注】 建設工事請負した建設会社より、建築構造以外に使用される金属製パネル・サッシ・手摺・柵などの制作、設置工事を受注。

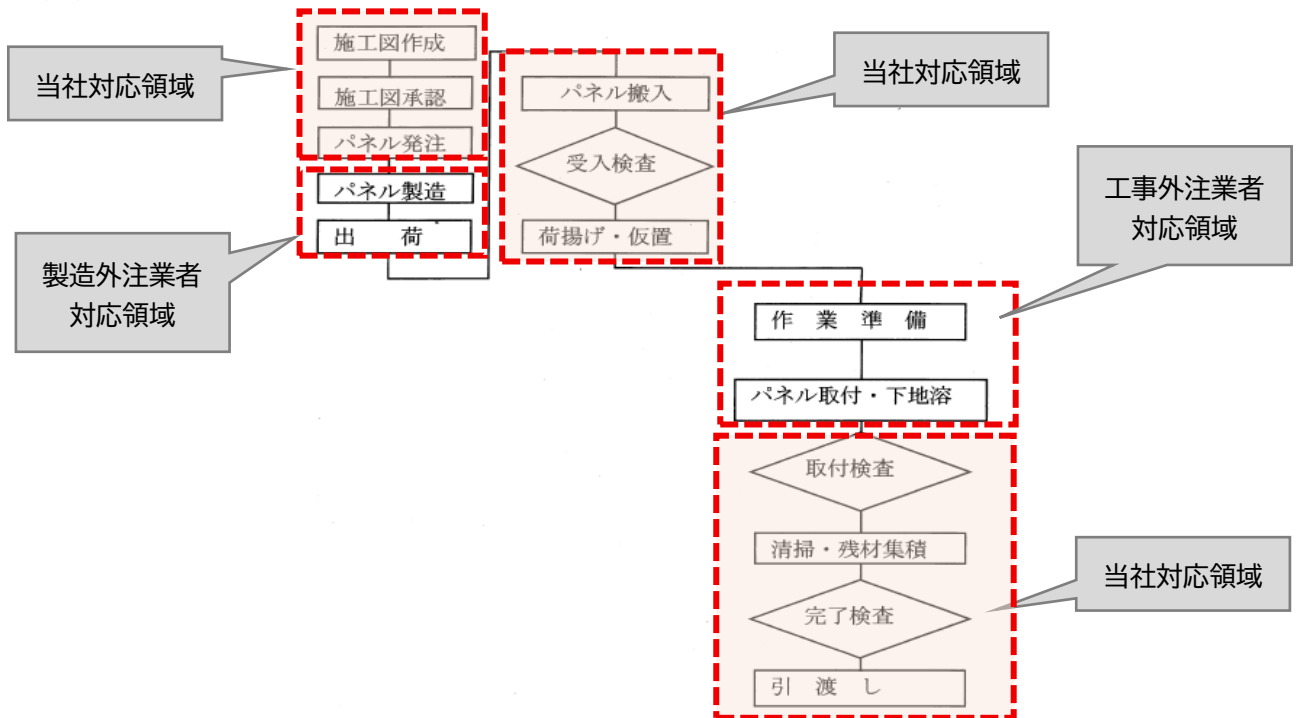
【設計】 建築物の基本設計を基に、製品を設計。

【製造】 設計に基づく製作を外注。併せて既製品対応部分を、メーカーより仕入れ。完成品を検査。

【施工】 当社の施工管理のもと、外注業者が据付工事。



#### 【(例) パネル設置工事の施工フロー】



## (2) 事業内容

### ①設計

当社が取り扱う製品のほとんどはオリジナルオーダー品であり、ステンレス、スチール、アルミなど、様々な鋼材に対応している。オリジナル製品への対応を可能にしている要因は、設計・施工実績に基づく情報として、ノウハウの徹底した蓄積と、正確な顧客ニーズの把握を背景とした当社の高い設計能力にある。

現場毎に製品が異なることから、当社では設計図作成前に必ず「見積・設計検討会」を営業部・設計部合同で実施している。営業部がヒアリングした顧客ニーズを設計部と共有し、最大限に顧客要望に沿った製品製造を目指している。

また、見積・設計検討会では顧客ニーズを踏まえた上で、当社が考えるより美しい意匠性やより強固な安全性及びコスト抑制に向けた検討を行った上で、顧客に対しての「提案型営業」を実施することでより良い製品提供を実現している。

製造は外注依頼となるが、完成品は当社で必ずチェックし、品質を担保している。完成した製品は現場管理部門において、施工の管理・監督を行っている。

提案型営業は創業者の信念であり、創業から現在まで永年に渡り実施されてきたことから、顧客からは「アラビアンに任せておけば安心」という信頼を構築しており、当社の業績は安定して推移している。

### ②現場管理

現場毎に「施工計画書」を作成し、計画書に基づいて現場管理の徹底を図っている。

計画書では「工事概要」「施工要領」「安全管理」「品質管理」「作業手順」などに関する基準を明確に記載し、発注者や施工者、外注業者と共有している。当社の管理方針を共有することで安全かつスピーディに高品質な建築金物の取付工事を実現している。

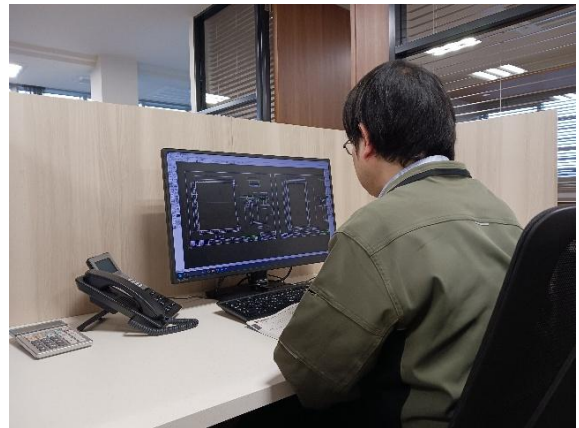
#### 【工程表の共有と周知徹底】

当社はこれまでに数多くの現場管理業務を実施している。豊富な経験を通じて当社が重要視していることのひとつが「工程表（施工計画）の共有及び周知徹底」である。

工程表を共有及び周知することで、現場の作業員や管理者が「何を・いつまでに・どのような順番で施工するのか」を理解し見える化することで、作業優先順位の明確化や納期遵守への共通認識が醸成される。

工程表運用を徹底して以降は、管理者（当社）からの指示を待たずに現場独自で判断し、行動できるようになり、現場の作業効率が向上している。

<当社設計作業の様子>



<パネル施工計画書抜粋>

	2022年		
	8月	9月	10月
屋根パネル 取替工事 工程表	準備工	調査	
		パネル取替	
			工場製作
			再取付・新設

**【安全基本方針の策定】**

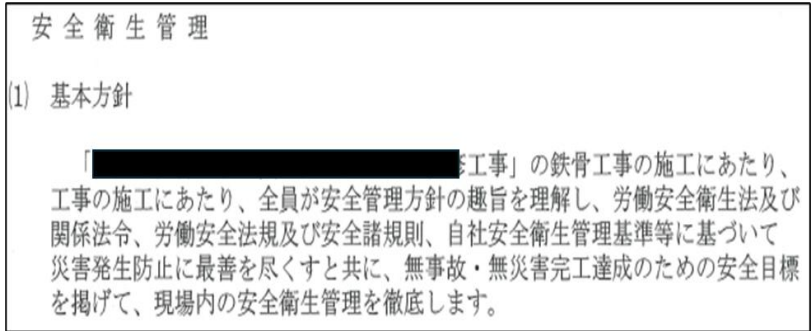
工事毎に安全基本方針を策定し、安全衛生管理の徹底を図っている。

安全に対する当社の姿勢を明確にすることを目的としている。

当社が掲げる「安全が第一優先」という考え方を朝礼で声掛けすることや施工計画書を通じて見える化することで共有し、安全意識の向上に繋げている。

また、方針を定めることで、安全に関する判断基準が統一され、現場に一体感が生まれることから、安全管理のみならず、質の高い施工工事の実現にも繋がっている。

<パネル施工計画書抜粋>



(3) 主要製品（製品毎に特徴説明）

**【サッシ】**

当社ではサッシを建物の外観だけではなく、防水性・気密性・耐久性など建物性能を左右する重要な要素であると捉えている。

長年培ってきた技術と経験を活かし、品質と施工性を両立した製品を提供し、安心して快適な建築環境づくりに貢献している。

<サッシ施工実績>

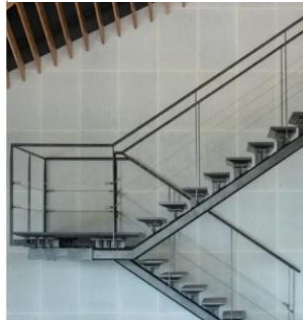


**【手摺】**

建築における手摺は単なる補助設備ではなく、転落防止・移動補助・心理的安心感を提供する重要な要素である。

当社では利用者の安全性を配慮し、角のあるデザインに丸みを加える提案や握りやすさ・最適な高さ・滑りにくさ、素材と構造面での耐久性を勘案した建物に適した提案を行い、デザイン性との両立を図ることとしている。

<手摺施工実績>



**【パネル】**

金属製パネルは、外壁や屋根などに使用されるため、外部環境に長期間耐える性能（耐腐食性・耐候性・耐衝撃性）が重要である。また、避難性や安全性確保のために防火性能、遮音性、断熱性への対応が求められる。

建築物の見栄えにも関わるため、多様な形状や仕上げ（光沢、カラー、テクスチャ、退色を防ぐ表面処理）にも対応する。

<パネル施工実績>



**【その他】**

防風柵	強風からのヒト・建物の保護に用いられ、耐腐食性が高い金属材料を使用して作られる。プラント、公共施設の外構に利用される。
固定柵	危険エリアとの区分に用いられ、耐久性・耐衝撃性が求められる。機械設備周辺、鉄道ホームなど利用箇所は多い。
サイン	企業名・ロゴなどの制作。様々なエッチングやレーザー加工など様々な技術が用いられる。

#### (4) 施工事例

##### 【富山駅ホーム固定柵】

単に設計図通りに製作するのではなく、意匠性や安全性にも考慮し、提案型の打合せを徹底的に行い、より良い製品提供を実現した施工事例である。

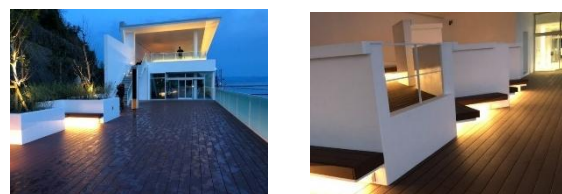
<富山駅ホーム施工実績>



##### 【道の駅雨晴ウッドデッキ】

設置条件に合わせた材料選定と工法を提案。加えてバリアフリー化も当社発信で取り入れ、安心して安全な観光拠点づくりに貢献した施工事例である。

<道の駅雨晴ウッドデッキ施工実績>



#### (5) 当社製品及び据付工事と建築物の関係

当社製品は建物全体のうち、鉄骨など構造部材そのものではないが、当社主要製品の金属製のサッシ、手摺、パネルは建物構造強度を補完・強化する重要な役割を果たしている。

下記の通り、一般的にこれらの部材は、構造物の耐震性や耐風性、安全性を向上させるための設計と材料選定、精度の高い製造、施工が求められ、併せて維持管理が建物全体の耐久性を維持する鍵になる。

当社では、当社が受注した製品や施工管理が、建築物の強度や耐久性の向上に繋がるものと認識し、外観としての高い意匠性を実現しつつ強度を意識した適切な設計、要求精度以上の製造と施工を徹底している。

<建築部材と建築物の構造強度などへの影響>

金属建築部材	建築物の構造強度や安全性への影響
サッシ	<p><u>構造安定性の補助</u>: 金属製サッシ（アルミやステンレス製）が壁の剛性を向上させ、外力に対する耐久性を高める。</p> <p><u>風圧・衝撃耐性</u>: 高風圧や衝撃が加わった際、金属製の高品質サッシがガラスを支え、建物全体の強度保持に貢献。</p> <p><u>防水性・気密性の確保</u>: 防水性や気密性が適切に設計されたサッシは、雨風の侵入を防ぎ、腐食や劣化を防ぐことで建物の寿命が期待できる。</p>
手摺	<p><u>重量の分散効果</u>: 階段やバルコニーに取付けられた手摺は、荷重を分散し、建物全体の構造に無理な力がかからない効果。</p> <p><u>安全性の確保</u>: 人がよりかかる、衝撃が加わるなどの場面を考慮した設計により、耐荷力を持たせている。</p> <p><u>横揺れ防止</u>: 階段やバルコニーの強度不足を補い、人が動いた際の揺れを抑える効果。</p>
パネル	<p><u>構造補強材としての役割</u>: 金属パネルは、建物外壁や仕切りとして使用され、剛性と耐久性を向上。</p> <p><u>耐風・耐震性能</u>: 主に外壁用に使用される場面では、強風や地震の際、外力を分散させる役割を果たす。</p> <p><u>断熱性・防音性能の改善</u>: 内部に断熱材や吸音材を組み込んだ金属製パネルは、住み心地や建物のエネルギー効率向上にも寄与。</p>
接合技術 (施工)	<p>金属製部材と建物構造強度の関係において、接合技術が建物の耐久性・安全性を大きく左右する。</p> <p><u>溶接やボルト接合</u>: 高品質な溶接、ボルト接合は部材同士の結合を強化し、地震時などに外れや破損を防ぐ。</p> <p><u>耐久性の向上</u>: 接合部に使われるコーティング材や防錆処理により、長年の使用に耐える構造となる。</p>

#### (6) 環境負荷低減に向けた建築業界の動向と当社の課題

一般社団法人日本建設業連合会では、建設業の環境自主行動計画を公表し、環境経営の実践、建物ライフサイクル CO<sub>2</sub>排出量の削減、建設副産物対策、生物多様性の 4 テーマに分け、その取り組みの方向性を示している。

当社事業は、建物ライフサイクル（調達～施工～解体）に関わる分野である。

建物ライフサイクル CO<sub>2</sub>排出量の削減の取り組みとして、建設業界大手などが自社オフィスの ZEB/ZEH 化やグリーンビルディングの建設を進め、グリーン調達 100%を目標とする方針を表明するなど、その推進が進んでいる。

当社としても、建物ライフサイクル CO<sub>2</sub>排出量の削減に向けた取り組みを推進する意向にあり、現在取り組めていない調達段階での CO<sub>2</sub>排出量の削減に取り組むこととした。

具体的には、製造時の CO<sub>2</sub>排出量を大幅に削減したグリーン鋼材の利用比率を引き上げていくことで、建設業全体の環境負荷低減に貢献していくことを確認している。

## 4.独自の取り組み

### (1) SDGs への取り組み

当社では 2025 年に SDGs 宣言書を作成し、製品・サービス、環境、人権・労働、社会・地域貢献の観点で重点課題を設定し、その課題解決に向けアクションプランを定め活動を展開中である。

以下の通り、取り組みの進捗状況を確認した。

#### 目標①お客様ニーズに合った提案型営業の実施

建物の長寿命化や安全性向上を目的とした提案型営業が顧客から高い評価を受けており、契約件数を伸ばしている。

クロムフリー製品の利用推進を図っており、製品製造外注先に対してクロムフリー製品の使用を推進している。

#### 目標②環境に配慮した取り組みの展開

社屋の LED 化が完了し、省エネ性能の高いエアコンを導入。電気使用量削減に取り組んでいる。

#### 目標③安全で働きやすい職場環境づくり

現場での事故発生件数ゼロを維持。

資格取得支援制度を活用した従業員のスキルアップが進んでいる。これにより、社内の専門性が向上し、業務効率が改善されている。

#### 目標④地域企業として社会貢献する

地元祭りやスポーツ事業への協賛を通じて、地域住民との信頼関係が深まっている。また、募金活動を通じて地域福祉への支援が強化されている。

<当社 SDGs 宣言書>

重点課題	具体的な取り組み	SDGs
製品・サービス 社会的課題解決 環境配慮製品	<b>目標：お客様ニーズに合った提案型営業の実施</b> ・建物の長寿命化や、安全性を高める提案型営業を行い、お客様ニーズにあった製品の提供 ・クロムフリー塗料など環境配慮製品の積極推進	9, 11, 12
環境 省エネ 3R推進	<b>目標：環境に配慮した取り組みの展開</b> ・資材の再利用化による廃棄物の削減 ・FAXをデータ管理しペーパーレスを推進 ・社屋のLED化、省エネ性能の高いエアコン導入を通じた電気使用量の削減	7, 13
人権・労働 安全衛生 ワークライフバランス	<b>目標：安全で働きやすい職場環境づくり</b> ・作業の手順書遵守や、詳細な打ち合わせ、現場での確認による従業員の安全確保 ・OJT体制や、資格取得支援による人材育成体制の構築	4, 5, 8
社会・地域貢献 地域資源活用 地域経済活性化	<b>目標：地域企業として社会貢献する</b> ・募金や、地元の祭り・スポーツ事業への協賛を通じた地域社会貢献活動 ・地域企業や地域の人材活用による地域経済活性化	11, 17

#### ●目標①補足：クロムフリー製品の利用推進

六価クロムは金属の防錆、耐摩耗・耐久性向上のための表面処理に歴史的に広く使われている。

性能やコスト面から技術代替が難しい一方、接触や吸入を経路とした毒性（発がん性）が指摘され、厳重な製造管理が求められるほか、水質・廃棄物処理に環境規制が設けられ安全が確保されている。

クロムフリーとは六価クロムを利用しないことであり、その健康や環境へのリスク・管理負荷を低減できる、毒性の低い三価クロムやクロム化合物を使わない別技術の普及が進んできている。

#### ●目標②補足：当社本社屋 LED 化の様子



(2) 現場の安全管理への取り組み

【安全衛生管理実施要領の策定】

前述の安全方針を現場で実行するための具体的なルールや手順の整理を目的に実施要領を策定している。

安全教育の方法や作業手順、報告体制について明文化し、安全管理徹底の仕組みを構築している。

作業手順を明確にすることで、転倒事故や挟まれ事故、墜落事故など種々の事故を未然に防いでいる。加えて、作業の標準化にも寄与しており、作業のばらつきや危険な自己流作業を防ぐことで作業品質の向上に繋がっている。

安全教育・KY活動（危険予知活動）・安全ミーティングの実施により安全意識の向上が図られている。

【安全衛生管理実施要領の実行】

当社では上記安全衛生管理実施要領のアクションのため、右記の通り、安全施工サイクルを策定し、日次、週次、月次の取り組みを取り決め管理者指揮のもと労働衛生管理を行っている。

現場での馴れ合いを防ぐため安全活動を単発で終わらせるのではなく、計画⇒実施⇒確認⇒改善を繰り返して安全性を高めていくことを目指している。

実際に、長期に亘り労災は発生しておらず、サイクルを繰り返して実施することで現場の安全レベルを継続的に向上させる効果が生まれている。

<パネル施工計画書抜粋>

工事現場における作業員の安全と健康を確保し、労働条件を確立し、快適な作業環境の形成を促進します。  
 このため工事の安全に留意し、現場を管理して労働災害の防止に努め、           兩の諸規定及び『労働基準法』『労働安全衛生法』及び及び自社安全衛生委員会の目的を理解し、行事、会議に参加するとともに安全推進に努め安全衛生活動計画を次のように定め、工事の安全、無災害を推進します。

図表 安全衛生管理活動表

項目	内容	頻度
新規入場者教育	工事の概要及び作業内容、作業所の規則周知、危険箇所、安全施工サイクルの指導	指定日
安全朝礼安全ミーティング	安全衛生責任者、安全衛生管理者、安全巡回員による安全ミーティングの実施	随時
安全作業打合せ	職員及び職長（安全作業指示書の交付）	毎日11:30～
週間工程打合せ	職員及び協力業者	毎週金曜日
災害防止協議会	元請及び協力業者	毎月
月間工程打合せ	元請及び協力業者	毎月
安全パトロール	元請及び協力業者	毎月
持込機械検査	作業所へ持ち込んだ機械、器具を点検する。合格には、許可証のシールを貼る	随時

<パネル施工計画書抜粋>

1) 毎日安全施工サイクル

行事	実施内容	実施責任者	時間
安全朝礼	ラジオ体操・作業説明・安全衛生上の指示・朝の一言	現場責任者	7:50
KYK	KYシート等を利用した危険予知活動	職長	8:10
始業点検	チェックリストによる重機・機械工具の点検	各責任者	8:20
現場責任者巡視	各種設備・作業方法の不備等改善指示	現場責任者	随時
工程打合せ	安全作業打合せ指示・作業指示書の交付	現場責任者	11:30
安全昼礼	変更作業説明・安全衛生上の指示	現場責任者	13:00
終了片付け	毎日終業前持ち場の片付け	全員	作業終了15分前
終業時確認	場内就業の確認	現場責任者	日没まで

※ 安全朝礼の開始時間は工事進捗により変更する。

2) 毎週安全施工サイクル

行事	実施内容	実施責任者	時期
安全工程打合せ	週間計画にもとづき段取り手配	現場責任者	毎金曜日
週間点検	週末に機電設備等を含めて一斉に行う	各責任者	休日明
一斉清掃	全員参加による清掃・片付け	全員	毎週金曜日昼礼後

3) 毎月安全施工サイクル

行事	実施内容	実施責任者	時期
災害防止協議会	請負者と協力業者で構成し月1回定期的に開催	現場責任者	月1回
月例点検	法廷点検としてチェックリストを活用し管理する。	現場責任者	第1月曜
安全大会	安全衛生に関する現場全員大会	現場責任者	毎月1日
安全工程会議	月度の反省・月度の工程打合せ・月度の安全衛生計画	現場責任者	月末

4) その他の安全施工サイクル

行事	実施内容	実施責任者	時間
新規入場者教育	作業所の特殊性及び安全・衛生の知識を与える	現場責任者	指定日
安全パトロール	安全パトロールの実施	現場責任者	随時

### (3) 持続可能な組織体制の構築

#### 【法令遵守】

関連法令である「建設業法」「建築基準法」「労働安全衛生法」をはじめとする各種法令を遵守し、設計・施工の各段階において適切な管理体制を整備している。

設計業務においては設計変更や承認図面の履歴管理を重要視しており、設計業務の透明性とトレーサビリティの確保に努めている。発注者や元請業者に対して設計内容の妥当性や変更理由を共有することは信頼関係の構築に繋がると考えている。また、建物は長期間使用される社会インフラであることから、設計履歴が残ることで、将来の改修・点検・事故調査の際にも役立つ。加えて設計履歴は設計担当者にとっても技術の伝承や技術力向上、若手教育に寄与することから、厳重管理を継続実施している。

施工管理においては、すべての施工工事において法令が定める加工寸法の基準以上の水準で施工することを施工計画書に明記している。

法令基準以上の加工精度や寸法で施工することで、強度余裕や安全余裕が生まれ、事故防止・建物利用者の安全が実現されると考えている。また、高品質な施工を行う企業としての信用が醸成され、顧客との持続的な取引関係の構築にも繋がっている。

#### 【組織体制】

苦情などが発生した場合の報告・共有に関する体制及びルールを策定しており、全従業員に周知徹底がなされている。

情報セキュリティ面では、外部文書（図面）をプロジェクト終了後破棄し、情報漏洩がないようにルール策定をしている。

#### 【BCP 対応】

従業員に対して、緊急連絡先の策定・非常食・防災バックの用意など災害時の備えを行っている。

また、事業継続において設計部門では、設計データのバックアップ（データ消失防止）・リモート設計体制の構築（業務停止防止）・設計トレーサビリティの確保（業務引き継ぎ）への取り組みにより、設計業務を停滞させることなく、製造外注業者の事業継続にも寄与している。

施工管理部門では作業員の人命安全を第一優先に前述の安全基準の遵守や安否確認システムの導入により人命安全と工事継続を図っている。

### (4) 健康経営への取り組み

当社は少数精鋭の組織であり、従業員1人1人の役割が大きいため、従業員の健康＝会社の生産力に直結するとの考えから、健康経営への取り組みを強化。2026年に富山県のとやま健康企業宣言（Step1）（※）を宣言。

今後、Step2 認定取得に向けて以下取り組みを強化している。

#### 生活習慣病予防への取り組み

歩数チャレンジや健康アプリを活用した運動管理

#### メンタル対策

ストレスチェック実施

#### 健康診断受診率 100%の実現

毎年の健康診断では追加の検査（胃カメラ、乳がんなどのオプション）も会社が費用負担し、従業員の健康増進を図っている。



#### ※とやま健康企業宣言

協会けんぽ富山支部・健康保険組合連合会富山連合会加入企業が、企業全体で社員の健康づくりを戦略的に実行する健康経営に取り組むことを宣言

Step1：職場の健康づくりに取り組む環境を整え、健康経営を行うための基礎を作る。

Step2：職場の健康づくりを更に進め、労働安全衛生を含めた健康経営を展開。

(5) 職場環境の整備

当社ではハラスメント規則を就業規則に明文化することでどのような行動がハラスメントになるのか、ハラスメントを行った場合どのような処分を受けられることになるのかなどを明確にし、ハラスメントの未然防止に努めている。

また、独自の取り組みとして、差別・ハラスメント防止と現状把握のため代表取締役と従業員とが1対1で個人面談を行い、ハラスメントの有無についてヒアリングを実施している。

当社はすべての従業員にとって働きやすい環境づくりに注力しており、特にワークライフバランスの推進強化を図っている。具体的には unnecessary な会議体の廃止を実行し、現在は全従業員の時間外労働ゼロを実現している。加えて完全週休二日制を導入、年間休日125日と従業員の働きやすい環境を整備。子育て世代や介護が必要な場合などは、家庭状況に合わせて柔軟に対応している。

また、ダイバーシティへの取り組みも重要視しており、障がい者・高齢者が在籍。多様な人材を採用することで多種多様な意見吸収を可能にし、それらを参考に意匠性や安全性の高い建築金物の設計・施工に繋げている。

<当社就業規則抜粋>

(セクシャルハラスメントの禁止)	
第46条	社員は、職場において性的言動を行い、それに対する従業員の対応により、当該従業員に対し、その労働条件に不利益を与えたり、または当該従業員の就業環境を害してはならない。
2	前項の性的言動ないし類似する形態の行為により、従業員の有する具体的職務遂行能力の発揮を阻害、ないしその恐れを発生させてはならない。
3	会社は、人事、総務責任者をセクシャルハラスメントに関する相談、苦情処理担当者として任命し、職場における性的な言動に起因する問題を管理に当たらせるものとする。
(パワーハラスメントの禁止)	
第47条	社員は、行為の内容の如何を問わず、他の従業員に対し、いじめ・嫌がらせ等を行ってはならない。
2	社員は、教育、指導の目的であっても、他の従業員に対し、暴力、脅迫、または個人の名誉を毀損する等の言動を行ってはならない。
3	会社は、総務責任者をパワーハラスメント等に関する相談、苦情処理担当者として任命し、職場における職場内の優位性を背景にした理不尽な言動に起因する問題の管理に当たらせるものとする。
(妊娠・出産・育児休業・介護休業等に関するハラスメントの禁止)	
第47条の2	社員は、職場において、他の従業員の妊娠、出産、育児、または介護、ならびにこれらを理由とする休業、または措置の利用等の妨げとなるような言動を行い、当該従業員の就業環境を害してはならない。
2	社員は、前項の言動、または類似する形態の行為により、他の従業員の有する具体的職務遂行能力の発揮を阻害、ないしその恐れを発生させてはならない。
3	会社は、人事担当責任者を妊娠・出産・育児休業・介護休業等に関するハラスメントに関する相談、苦情処理担当者として任命し、職場における妊娠、出産、育児、または介護、ならびにこれらを理由とする休業、または措置の利用等の妨げとなるような言動に起因する問題の管理にあたらせるものとする。

(6) 教育・研修制度への取り組み

当社は業界未経験者や資格未保有者であっても本人の意欲を重視し、積極的に採用している。

入社後は上司・先輩とのOJT(3ヵ月一緒に現場経験する)や社内研修などを通じて人材の教育・育成を行っている。

また、各種資格取得(玉掛、足場組立、フォークリフト、クレーン、自動ドアなど)において2回目までは取得費用を全額補助しており、従業員の働きがい創出を促進している。

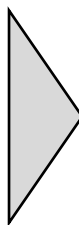
当社は永続的な成長を見据え、現場管理の質・件数の向上を目指している。目下は施工管理技士を3名から6名に増員し、施工品質の向上や安全管理の強化を実現し、受注機会の拡大を図る。

また、玉掛及び足場組立作業主任者を増員することで、現場作業効率の向上や現場対応力の強化を図る。

自動ドア施工技能士については祖業である「自動ドア事業」の永続的な事業継続を目的に、後継者育成の観点から資格者を増員する計画である。

【現在】

資格	保有者数
2級建築士	1名
2級建築施工管理技士	3名
1級自動ドア施工技能士	1名
2級自動ドア施工技能士	1名
玉掛作業主任者	4名
足場組立作業主任者	2名



【目標】

資格	保有者数
2級建築士	1名
2級建築施工管理技士	6名
1級自動ドア施工技能士	2名
2級自動ドア施工技能士	3名
玉掛作業主任者	5名
足場組立作業主任者	3名

### (7) 従業員向けアンケートの実施

従業員エンゲージメント向上を目的に社内アンケートを定期的  
に実施している。若手からベテランまで様々な目線・角度か  
らの意見吸収を通じて職場環境の改善に繋がっている。

前述の全従業員の時間外ゼロ実現への取り組みにある「不要  
な会議体の廃止」は従業員向けアンケートでの記載内容をヒント  
に実行している。

アンケート実施はエンゲージメント向上のみに留まらず、会  
社の課題解決に繋がる取り組みにもなっている。

#### <アンケート結果抜粋>

Q3. 入社してよかった点は？

- ・規則正しい生活を送れるようになった
- ・1から丁寧に教えてもらえ、安心して働ける
- ・上司・先輩とも仲が良い
- ・会社行事も多く、コミュニケーションがとりやすい

Q4. どんな会社？

- ・雰囲気が良く、だれにでも相談しやすい
- ・仕事と休憩のメリハリがはっきりしている
- ・協力業者とも関係が良い
- ・福利厚生がしっかりしている
- ・有給休暇取りやすく、働きやすい

### (8) その他取り組み

当社では協力会社との関係強化・信頼構築・情報共有の場として社内行事を開催している。協力会社  
との結束力が企業競争力に直結すると考えており、こうした行事が当社と協力会社との連携強化や現場  
でのコミュニケーション活性化に繋がっている。

#### <新年会の様子>



#### <安全大会の様子>



## 5.インパクトの特定

### (1) インパクトリーダーによる包括的なインパクト分析

#### ① 包括的なインパクト分析

富山第一銀行は当社の事業内容やバリューチェーン分析などの結果をもとに、主要・関連業務を特定し、UNEP FI が推奨するインパクトマッピングを実施し、ポジティブインパクト及びネガティブインパクトの分布を調査した。

事業規模からインパクトの大きさを勘案し、当社の建築金物の設計及び施工管理部門を分析対象としている。事業活動は、国際標準分類に則り、「その他の建設設備工事業（業種コード 4329）」「建設・エンジニアリング業及び関連技術コンサルタント業（業種コード 7110）」を適用。川上事業は「他に分類されない金属製品製造業（業種コード 2599）」を適用。川下事業は「建築工事業（業種コード 4100）」を適用した。

国際産業標準分類	川上の事業		当社の事業				川下の事業		
	【2599】		【4329】		【7110】		【4100】		
	他に分類されない金属製品製造業		その他の建設設備工事業		建設・エンジニアリング業及び関連技術コンサルタント業		建築工事業		
インパクトカテゴリー	Positive	Negative	Positive	Negative	Positive	Negative	Positive	Negative	
社会	水（入手）								
	食糧								
	住居			◆◆		◆◆		◆◆	
	健康・衛生					◆		◆	◆
	教育								
	雇用	◆	◆	◆	◆	◆◆	◆	◆	◆
	エネルギー							◆	◆
	移動手段								
	情報								
	文化・伝統								◆
	人格と人の安全保障								◆
	正義・公正								
強固な制度・平和・安定									
環境	水（質）		◆						◆
	大気		◆						◆
	土壌								◆
	生物多様性と生態系サービス								◆
	資源効率・安全性		◆			◆			◆
	気候		◆						◆◆
経済	廃棄物		◆		◆		◆		◆◆
	包括的で健全な経済	◆						◆	
	経済収束							◆	

#### ② 当社の事業活動におけるインパクトの抽出

①分布図中の「◆◆」は重要な影響があるカテゴリー、「◆」は影響があるカテゴリーを示しており、当社の事業活動における「◆◆」「◆」の影響を検討する。

重要な影響があるカテゴリーとして、ポジティブインパクトでは社会面の「住居」、「雇用」が挙げられた。

影響があるカテゴリーとして、ポジティブインパクトでは社会面の「健康・衛生」、「雇用」、「資源効率・安全性」が挙げられた。ネガティブインパクトでは社会面の「雇用」「廃棄物」が挙げられる。

川上事業「他に分類されない金属製品製造業（業種コード 2599）」及び川下事業「建築工事業（業種コード 4100）」との関連性において、重要な影響があるカテゴリーとして、ネガティブインパクトの環境面「気候」が挙げられる。影響があるカテゴリーとして、ポジティブインパクトの経済面「包括的で健全な経済」が挙げられる。ネガティブインパクトの環境面「水（質）」、「大気」、「土壌」が挙げられる。

### ③ インパクトの検証

社会面・経済面において、当社は永年建築金物の設計・施工管理を行っており地域経済や環境に対して様々なインパクトを与えている。当社が取り扱う建築金物は事業用施設や商業施設、一般住宅まで幅広く使用されており、当社が提供する美しく強い・機能性の高い建築金物製品はそこで仕事や生活を営む利用者の快適な空間提供に繋がっている。また、意匠性の高い建築金物は建物の外観や空間デザインを引き立て、まち全体の景観価値向上にも寄与する。そのことは社会面の「住居」及び経済面の「包括的で健全な経済」におけるポジティブインパクトの拡大に寄与している。

当社が実施する資格取得支援（費用負担あり）への取り組みによる有資格者の増加は会社としての対応力強化に繋がり、個々のモチベーションアップにも寄与する。資格だけでなく、技能や知識の向上を目的に社内での講習会や勉強会も積極的に開催して、従業員のレベルアップを目指している。また、従業員向けアンケートの実施を通じて従業員のエンゲージメント向上を実現している。加えて、当社が取り組んでいるハラスメントの未然防止や、ワークライフバランス（全従業員の時間外労働ゼロの実現）の推進強化は従業員の働く環境の改善に繋がっている。これらの取り組みは社会面の「雇用」におけるポジティブインパクトの拡大に寄与している。

また、建設業界は一般的に3K（きつい・汚い・危険）というイメージを抱かれることが多く、実際に当社においても雨風にさらされる現場、高所・閉所での作業も存在する。そのような環境による影響を少しでも改善・緩和するために、当社では現場毎に綿密な施工計画書を作成し安全基準や作業標準化に取り組むことで作業者のケガや事故を防止することに繋げ、安全性を確保している。この取り組みは社会面の「雇用」におけるネガティブインパクトの抑制に寄与している。

環境面では、当社が手掛けた製品は建築構造に適した鋼材で製造されており、当社製品を利用することは建物自体の長寿命化に繋がっていることから、「資源効率・安全性」におけるポジティブインパクトの拡大に寄与。製品製造過程で生じる不要資材については金属が多く、有価物であることから既にその多くがリサイクルされてことから「廃棄物」におけるネガティブインパクトの抑制に寄与。

当社では建築金物製造外注の際に使用する鋼板及び塗料について、クロムフリー製品の使用を推進し、環境課題の解決に取り組んでいる。従来の防錆塗料には六価クロムという強い毒性を持つ有害物質が含まれており厳重な製造管理と環境規制の下で使用されている。六価クロムを含まないクロムフリー製品を使用することで、鋼板など資材のサプライチェーンや当社製品における作業者の健康リスク（発がん性、皮膚炎、呼吸器障害）及び環境汚染（土壌・水・大気を汚染）の低減、併せて廃棄物処理時の環境負担低減（クロムを含む製品は廃棄時に有害廃棄物として処理する必要あり）に繋がっている。また、脱炭素に向けて、グリーン鋼材を使用した製品製造への着手及び社屋のLED化や省エネ性能の高いエアコン導入による電気使用量の削減に取り組んでいる。これらの取り組みは「気候」、「水（質）」、「大気」、「土壌」におけるネガティブインパクトの抑制に寄与している。

## (2) インパクトカテゴリーに対応する SDGs ゴール

当社の売上高はすべて日本国内から生じるものであり、日本の SDGs ダッシュボードから当社の事業活動のインパクトとの関連性について確認する。前記抽出したインパクトと関連の高い SDGs ゴールは下記のようになる。



## (3) 日本におけるインパクトニーズの確認

持続可能な開発ソリューションネットワーク (SDSN) に掲載されている日本のダッシュボードによると、大きな課題が残る項目が「赤色」、重要な課題が残る項目は「橙色」、課題が残るのが「黄色」、目標達成が「緑色」となる。

今回特定したインパクトと対応する SDGs ゴール 4 項目のうち日本に大きな課題が残る項目が 4 項目中 2 項目、重要な課題が残る項目は 1 項目該当しており、当社のインパクトは日本において重要度が高いと判断できる。



(出所) SDGs ダッシュボード

(4) 富山県の政策・戦略の確認 ～とやま未来創生戦略～

富山県は、約 4,248 km<sup>2</sup>の広さを有し、医薬品や機械、電子部品などを中心としたものづくり産業が盛んな日本海側有数の中核都市として発展してきた。水深 1,000m の「海の幸の宝庫」富山湾から 3,000m 級の北アルプス立山連峰まで、自然豊かで多様な地勢を誇り、広大な森林面積や全国有数の水力資源、地熱資源に恵まれ再生可能エネルギーのポテンシャル（潜在可能性）が高いことも特徴である。

人口減少、少子・超高齢社会が進行する中、このような地勢を背景として、富山県では本県の自然、文化産業など各地域の特色、強みを活かした持続可能で活力ある未来を創造するため、平成 27 年 10 月から「とやま未来創生戦略」を、令和 2 年度から「第 2 期とやま未来創生戦略」を策定した。

第 2 期とやま未来創生戦略は、基本目標 1. 結婚・出産・子育ての願いが叶う環境整備、基本目標 2. 産業振興、若者などの雇用創出、観光振興、県内への移住促進、基本目標 3. 若者・女性・高齢者など多様な人材の確保と労働生産性の向上、基本目標 4. 活力あるまち・健やかな暮らし・未来を担う人づくりを掲げている。

基本目標 1 の②（ア）長時間労働の是正や柔軟で多様な働き方の推進など働き方改革の推進に対して、当社が実践している全従業員の時間外ゼロの実現及びダイバーシティへの取り組みは職場環境整備への取り組みはそれに合致している。

基本目標 3 の①（ア）若者がチャレンジし活躍できる環境づくりに対して、当社が行っている資格取得支援制度は従業員のチャレンジする意欲を後押ししており、従業員が活躍できる職場環境づくりへの取り組みはそれに合致している。

基本目標 4 の③（ア）豊かで快適な環境づくり（イ）安全・安心の確保に対して、当社が製造する美しく強い、機能的な建築金物を使用した建物では、利用者に対して豊かで快適な空間が提供されている。また、建物に適した鋼材利用を通じた安全への取り組みはそれに合致している。

<p><b>基本目標 1</b> 結婚・出産・子育ての 願いが叶う環境整備</p> <p>① 結婚から子育てまで切れ目のない安心による少子化対策の推進</p> <p>(ア) 結婚・妊娠・出産支援 ○結婚を希望する男女の出会いの場の提供 やライフプラン教育の充実 ○若者・女性を中心とした移住・Uターンへの促進 ○妊娠、出産、健やかな子どもの成長のための環境整備</p> <p>(イ) 家庭・地域における子育て支援 ○多様な保育・子育て支援サービスの充実 や子育て支援人材の育成 ○子育て家庭の経済的負担の軽減</p> <p>(ウ) 職場における子育て支援 ○仕事と子育ての両立支援に向けた職場環境の整備促進</p> <p>② 働き方改革を機に叶う生活の実現による少子化対策の推進</p> <p>(ア) 長時間労働の是正や柔軟で多様な働き方の推進など働き方改革の推進 (イ) 男性の家事・育児参加の促進</p>	<p><b>基本目標 2</b> 産業振興、若者等の雇用創出、 観光振興、県内への移住促進</p> <p>① 産業・地域経済の活性化</p> <p>(ア) 富山県の強みを活かした成長産業の育成 (イ) 中小・小規模企業の振興 (ウ) 企業立地等の促進 (エ) 農林水産業の振興 (オ) 環境・エネルギー産業の育成</p> <p>② 若者や女性が働き、学びを続けられる魅力ある地域づくり</p> <p>(ア) 若者・女性の就業支援・県内定着の促進 (イ) 高等教育機関の魅力向上 (ウ) 地域の魅力創生</p> <p>③ 観光の振興</p> <p>(ア) 連携し続ける観光地づくり (イ) 富山のブランド力アップ</p> <p>④ 移住・定住の環境づくり、関係人口の創出・拡大等</p> <p>(ア) 移住・定住の環境づくり (イ) 関係人口の創出・拡大</p>	<p><b>基本目標 3</b> 若者・女性・高齢者など多様な 人材の確保と労働生産性の向上</p> <p>① 若者や女性が輝いて働ける環境づくり</p> <p>(ア) 若者がチャレンジし活躍できる環境づくり (イ) 様々な分野で活躍できる女性人材育成 (ウ) 女性の再就職支援</p> <p>② 高齢者等が能力を發揮して活躍できる社会の実現</p> <p>(ア) 元気な高齢者が活躍するための支援 (イ) 誰もがいきいきと働き活躍できる場の創出</p> <p>③ 外国人材活躍の促進と多文化共生の地域づくり</p> <p>(ア) 外国人材活躍の促進 (イ) 多文化共生の地域づくり</p> <p>④ 多様な人材の確保・育成と労働生産性の向上</p> <p>(ア) 多様な人材の確保 (イ) ものづくり分野や観光分野などでの人材育成 (ウ) 働き方改革を通じた労働生産性の向上 (エ) 産業の高産化・高付加価値化の支援を通じた労働生産性の向上</p>	<p><b>基本目標 4</b> 活力あるまち・健やかな暮らし・ 未来を担う人づくり</p> <p>① 交通ネットワーク整備と活力あるまちづくり</p> <p>(ア) 陸・海・空の交通基盤整備 (イ) 快適で活力ある魅力的なまちづくり</p> <p>② 人生100年時代を見据えた人づくり</p> <p>(ア) 健康寿命の延伸 (イ) 医療や福祉の充実 (ウ) 教育力の向上 (エ) 未来を拓く人材育成 (オ) リカレント教育の推進 (カ) 生涯にわたる学びの推進 (キ) 心の元気を醸成する文化の振興</p> <p>③ 持続可能で安心して暮らせる地域の環境づくり</p> <p>(ア) 豊かで快適な環境づくり (イ) 安全・安心の確保</p> <p>④ 豊かで魅力ある中山間地域の振興</p> <p>(ア) 地域コミュニティの活性化 (イ) 地域経済の活性化 (ウ) 住民生活に必要な不可欠なサービスの確保</p>
------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

出典：富山県 第 2 期とやま未来創生戦略

## (5) インパクトの特定

上記のインパクト分析に加え、インパクトの達成と安定的な事業運営を両立し得るという観点で事業環境について検討した。

- ・ 意匠性・安全性の高い機能的な建築金物の普及を通じた社会インフラへの貢献
- ・ 環境負担軽減に向けた取り組みの強化
- ・ 従業員の働きがい向上に向けた職場環境の整備

## (6) 特定したインパクトと富山第一銀行との方向性の確認

当社のバリューチェーン分析、インパクトマッピング、日本におけるニーズや地域・業界におけるニーズや方向性などを踏まえて当社と特に関連性の高いインパクトを整理した。特定したインパクトと富山第一銀行のサステナビリティ方針と方向性が同じであることを確認する。

今回特定したインパクトは「意匠性・安全性の高い機能的な建築金物の普及を通じた社会インフラへの貢献」「環境負担軽減に向けた取り組みの強化」「従業員の働きがい向上に向けた職場環境の整備」である。

富山第一銀行では、サステナビリティ方針のなかで、「1.地域経済の持続的な成長」「2.地域社会の持続的な発展」「3.環境保全」「4.健全な企業経営」の4点を、サステナビリティを巡るマテリアリティ（重点課題）としている。

「意匠性・安全性の高い機能的な建築金物の普及を通じた社会インフラへの貢献」では「1.地域経済の持続的な成長」「2.地域社会の持続的な発展」「4.健全な企業経営」という観点で、「環境負担軽減に向けた取り組みの強化」では「3.環境保全」という観点で、「従業員の働きがい向上に向けた職場環境の整備」では「4.健全な企業経営」という観点で方向性が一致する。

以上より、本ポジティブ・インパクト・ファイナンスに取り組むことで、環境問題や地域社会・経済を取り巻く課題に対して持続可能な社会の実現に貢献し得る資金の提供が可能となり、本ファイナンスを通じてSDGs達成に向けた取り組みの支援を目指す。

## 6.KPI の設定

### ① 意匠性・安全性の高い機能的な建築金物の普及を通じた社会インフラへの貢献

当社が提供する意匠性の高い建築金物は建物の外観や空間デザインを引き立て、まちの景観価値向上に寄与している。また、安全性能に配慮し設計された機能的な当社製品の普及はそれを使用した建物利用者の快適な空間や安全性の提供に直結している。



加えて、使用環境に合わせた材質の選定と強度検討を行うことで、建物の長寿命化にも寄与する。

項目	内容
インパクトの種類	社会面におけるポジティブインパクトの拡大
インパクトカテゴリー	「住居」
対応する SDG s	
対応方針	<ul style="list-style-type: none"> <li>安全性を高める（手摺などの安全設計）提案型営業を推進し、工事件数及び売上高を伸ばす</li> </ul>
KPI	<ul style="list-style-type: none"> <li>① 売上高を 2029 年 3 月期までに 1,000 百万円とする。（2025 年 3 月期売上実績：419 百万円）</li> <li>② 受注件数を 2029 年 3 月期までに 500 件とする。（2025 年 3 月期受注件数実績：286 件）</li> </ul>

## ② 環境負担軽減に向けた取り組みの強化

当社が手掛ける建築金物はその多くがクロムフリー製品（鋼板や塗料）を使用した製品となっている。有害物質を含まないクロムフリー製品の普及を通じて環境保護に寄与している。

また、脱炭素に向けて、グリーン鋼材の使用推進や社屋の LED 化、省エネ性能の高いエアコン導入による電気使用量の削減にも取り組んでいる。

項目	内容
インパクトの種類	環境面におけるポジティブインパクトの拡大 環境面におけるネガティブインパクトの抑制
インパクトカテゴリー	「大気」「土壌」「水（質）」「気候」
対応する SDG s	 
対応方針	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 環境汚染（大気・土壌・水）低減及び廃棄物処理時の環境負担低減（クロムを含む製品は廃棄時に有害廃棄物として処理する必要あり）に繋がるクロムフリー製品の普及拡大</li> <li>・ グリーン鋼材（製造過程で CO<sub>2</sub>排出量を大幅に削減した環境配慮型鋼材）の使用推進</li> <li>・ 社屋における電力使用量を削減</li> </ul>
KPI	<p>① 2029 年 3 月期までに建築金物製造に使用する鋼板及び塗料においてはクロムフリー製品使用率を 100%にし、これを社内標準とする。 （2025 年 3 月期：使用率 90%）</p> <p>② 2029 年 3 月期までに鋼材仕入全体に占めるグリーン鋼材の割合を 30%まで引き上げる（2025 年 3 月期：0%）</p> <p>③ 2029 年 3 月期までに電気使用量を 10%削減 （2026 年 2 月実績 664 kWh ×12 ヶ月=7,968kWh）</p> <p>※新社屋竣工から 1 年未満であり、直近実績値より基準値を算出</p>

### ③ 従業員の働きがい向上に向けた職場環境の整備

日本全体、とりわけ建設業界において人材不足が顕著な状況が続いているが、当社においては全従業員が働きがいを持ち、高いモチベーションで働いていける職場環境を構築することで人材確保に努めている。また、従業員の資格取得は個々のモチベーションだけでなく、施工する工事の品質にも直結することから会社全体の業績にも寄与するもの。会社として、従業員のスキルアップ支援、従業員の心身の健康に配慮した働きやすい職場環境の実現を目指していく。

項目	内容
インパクトの種類	社会面におけるポジティブインパクトの拡大 社会面におけるネガティブインパクトの抑制
インパクトカテゴリー	「雇用」
対応する SDG s	
対応方針	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 研修や教育を行うことで安心安全な労働環境を整備する</li> <li>・ 資格支援などを通じて、働き甲斐ややりがいに繋がる環境を作る</li> </ul>
KPI	① 2029年3月期までに有資格者※を8名増加。 ※対象資格：2級建築士、2級建築施工管理技士、1級・2級自動ドア施工技能士、玉掛作業主任者、足場組立作業主任者 (現状12名) ② 労働災害ゼロを継続(現状ゼロ)

## 7.管理体制とモニタリング

### (1) インパクトの管理体制

当社は、代表取締役の山口様を中心にサステナビリティに関する方針・施策の決定や、重要課題（マテリアリティ）の検討、推進、進捗状況のレビューなどを行っている。

本件におけるインパクトについては、事務・総務部が中心となり、管理・KPI 達成に向けた施策を実施する。

最高責任者	代表取締役 山口 義雄
管理責任者	代表取締役 山口 義雄
管理部署	事務・総務部

### (2) モニタリング方法

本ポジティブ・インパクト・ファイナンスで設定した KPI の達成及び進捗状況については、富山第一銀行と当社とで定期的に面談の場を設け共有する。本面談は少なくとも年 1 回実施するほか、日頃の情報交換や営業活動の場などを通じて実施する。

富山第一銀行からは、KPI 達成に必要な資金及びその他ノウハウの提供、あるいは富山第一銀行の持つネットワークから外部資源とマッチングすることで、KPI 達成をサポートする。

モニタリング期間中に達成した KPI に関しては、達成後もその水準を維持していることを確認する。なお、経営環境の変化などにより、KPI を変更する必要がある場合は、富山第一銀行と当社が協議の上再設定を検討する。

## 注意事項・免責事項

1. 本評価書は、株式会社富山第一銀行が株式会社アラビアンから提供された情報や独自に収集した情報に基づく現時点での計画または状況に対する評価で、将来におけるポジティブな成果を保証するものではありません。
2. 富山第一銀行は、本評価書を利用したことにより発生するいかなる費用または損害について、一切責任を負いません。

- 本件に関するお問い合わせ先  
株式会社富山第一銀行  
法人事業部 法人コンサルティングチーム  
〒930-8630  
富山市西町5番1号（TOYAMA キラリ 7F）  
TEL (076) 461-3871